

日進市大学連携講座 2023/2/22

「障がい特性から”できること”の発見へ」

講師：映像メディア学科 准教授 草野 圭一

障がいを持つ人々や子どもたちとの創作活動を通し、いつも感じることは一人ひとりが持つ感性や表現の豊かさです。その個々が持つ障がい特性をどのように理解し、能力へつなげ、生かすことができるでしょうか。デザイン的な考え方によるアプローチで試みた、障がい特性から”できること”の発見について考えてみました。

受講者アンケートまとめ

参加者 5・回答数 5

■ 年代・性別をお教えてください

- 年代 50代 2名 ・ 60代 1名 ・ 70代 2名  
○性別 男 1名 ・ 女 4名

■ 今回の講座の開催をどこで知りましたか

- ア 生涯学習情報誌 PLAN 4名    イ ホームページ 0名  
ウ 各施設のチラシ 0名    エ 知人の誘い 1名  
オ その他 0名

■ 受講された講座の感想

- ア とても良かった 1名    イ 良かった 4名  
ウ あまり良くなかった 0名    エ 悪かった 0名

■ 受講された講座に関して、ご感想やご意見、ご要望などありましたらご自由にご記入ください  
(参加した理由、この講座に感じた魅力、印象に残ったことなど、何でも結構です)

- ・障がい特性のプロセスが理解できた。個々の特性によりどのようなことが現実的な仕事にやくにたつのかをもう少し知りたいと思いました。
- ・障がい者自立支援ホームでアルバイトをしています。6名の利用者さんの中に二人の自閉症の方がいますが二人はそれぞれです。個性でみていくことをつくづく感じています。今日のお話をお聞きして合点がいきました。これからは働く仲間と共に、教わったことを深めていきたいと思いました。なぜ?の問いから形にして初めていきたいです。ありがとうございました。

- ・障がいをもつ人について理解の助けになるお話を聞けるのではないかと思います。研究の道程がよくわかりました。“デザイン思考”興味深いです。「マイルール」や「認知の特性（個性）」は誰にでもあるものと思ひ、そのように理解していくことの大切さを考えさせられ良かったです。
- ・子ども（といっても、もう 40 歳代だが）が知的障がいがあり、いまは家事手伝いを行っているのみ。妹が根気よく、彼女なりの方法で手伝わせているが、自分なりのやり方に強いこだわりがあるように見え、時にストレスのたまった彼女にこっぴどく叱られることもある。私としてはその個々のつまづきを総合的に見ることができなかつたが、今日のお話のような見方でまた捉え直してみたいと思う。
- ・障がいをもっている人と関わる時に参考になると思ひ受講。「できる」へ見方を変える事の大切さを教えられた。

■ 生涯学習講座全体について、ご意見・ご要望などありましたらご自由にご記入ください  
(こうすれば参加しやすい、この文言に惹かれて参加した、新設して欲しい教室・曜日・時間の希望等、何でも結構です)

- ・日進市は市の大きさのわりに大学が多い市だと思うので、大学と連携してより多くの講座を開設していただけるとありがたいです。
- ・ひとつのテーマについて様々の方からのお話や数人の講師の方のお話など、飽きずに何回か通える講座が面白いかなと思います。
- ・昨年度、初めて受講したが、この歳になつてもおとろえない好奇心を満たしてくれるいい機会になっている。また多様な、多彩な講座を設けて頂くようお願いしたい。
- ・オンライン講座をもっと増やしてほしい。「読書の楽しみ」「本の紹介」等の講座もあると良い。



日進市民会館にて講座を行いました